

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



DIGITAL

地上デジタル/BS放送用レベルチェッカ LCW30CU

製品の特長

● 片手で簡単操作

簡単なボタン操作で、地上デジタル放送、BSデジタル放送の受信レベルを確認できるので、受信アンテナの方向調整が容易に行なえます。

● 新機能、CN比^(※)で映像品質を確認

地上デジタル放送は受信レベルとCN比^(※)を、BSデジタル放送は受信レベルをチェックできます。

● BSコンバータ用電源を本体から供給

高性能DC-DCコンバータを内蔵。BSコンバータ用電源をこのチェッカから直接供給できるため、別に電源を必要としません。

● バーグラフ機能付き

リアルタイムにバーグラフでレベルを表示しますので受信アンテナの方向調整が最適に行なえます。

● アナログUHF放送も確認可能

アナログ放送受信時は音声でも確認できます。

● オートパワーOFF機能

5分程度操作がないと自動的に電源をOFFにします。



※CN比は弊社独自の測定方法によるものです。

安全上のご注意



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は注意して行ってください）が描かれています。



警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- この製品はアルカリ単3乾電池で動作します。破裂、破損、液漏れ、発熱による火災・感電の原因となりますので、次の事項を必ずお守りください。
 - ・アルカリ単3乾電池以外は使用しないでください。（異なる種類の電池との混用もやめてください。）
 - ・新しい電池と古い電池の混用はしないでください。
 - ・電池を火中に投げ入れないでください。
 - ・電池の+極と-極をショートさせないでください。
 - ・この製品を長期間使用しない場合は電池を抜き取ってください。



- ストラップを持って本体を振り回さないでください。けがや故障などの原因となります。



- この製品を、高温・多湿になる場所や水のかかる場所で使用したり、保管しないでください。防水・防滴・防塵仕様ではありません。水濡れや埃は故障の原因となり、電池がショートした場合に過電流が流れて、火災・感電の原因となります。



- この製品は精密機器です。落下や衝撃は避けて、取り扱いには十分ご注意ください。



- この製品のネジをはずして開けたり、分解しないでください。また、お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。



- 雷が鳴り出したらただちに操作をやめて、安全な場所に避難してください。感電の原因となります。



お取り扱いの前に

- 5分程度操作がなければ、自動的に電源をOFFにします。（オートパワーOFF機能）
- 電源を切るとすべての設定は初期状態に戻ります。
- BSコンバータへの電源供給は、この製品本体の電源と共有しています。そのため、BSコンバータへの電源供給の時間や頻度により、チェッカ本体の使用時間が著しく短くなる場合がありますので、使用後は速やかに電源を切ってください。
- この製品はCATVで配信される信号の測定には対応していません。
- 受信レベルおよび、CN比の値は目安です。目的のチャンネルや周辺環境など諸条件により変わります。

各部の名称と説明

①アンテナ入力端子 (F座)

アンテナ出力、ブースタ出力、壁面端子などを同軸ケーブルを用いて接続します。また、BSコンバータ用電源 (DC15V) を供給することができます。

②モードボタン

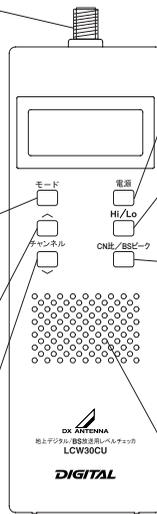
受信する放送を切り換えます。
→地デジ→BS→地上アナログ

③チャンネル∧ボタン

受信チャンネルをアップします。

④チャンネル∨ボタン

受信チャンネルをダウンします。



⑤電源ボタン

2秒以上長押しで電源が入ります。BSモード時に、再度2秒以上長押しでBSコンバータ用電源 (DC15V) が出力されます。

⑥Hi/Loボタン

入力レンジを切換えます。画面にHiやLoと出たときや数字が点滅した場合に押してください。

⑦CN比/BSピークボタン

- 地デジモード時：
受信レベル表示とCN比表示の切換え。
- BSモード時：
レベルのピークをバーグラフの中心に設定 (オフセット) することができます。
→5ページ
- 地上アナログモード時：
受信レベル表示と音声出力の切換え。

⑧スピーカ

地上アナログ放送を受信している場合、スピーカより音声確認ができます。

製品構成

本体	1台	アルカリ単3乾電池	3本
カバーケース	1個	取扱説明書	1部
ストラップ	1本		

※付属されている電池は、動作確認用です。
ご使用の際は新品の電池と交換してください。

画面の説明

①モード表示部 (下記表示内訳)

UHF: 地上デジタル (地デジ)
UHF_A: 地上アナログ
CN: 地デジでのCN比
SAT_{BS} (点灯): BS放送、コンバータ用電源 (DC15V) 供給なし
SAT_{BS} (点滅): BS放送、コンバータ用電源 (DC15V) 供給中

②チャンネル表示部

③レベル表示部/CN比表示部

④電池マーク

⑤バーグラフ

①モード表示部: 選択したモード (地デジ/BS/地上アナログ) を表示します。

②チャンネル表示部: 選択中のチャンネルを表示します。(初期状態は地デジの13chです。)
地デジ13~62ch、BS1~23ch、地上アナログ13~62chが表示されます。

③レベル表示部: 各モードの受信レベルと、地デジモード時のCN比を表示します。
受信レベルは99まではそのまま表示し、100以上は、A0 (100) A1 (101) と表示されます。表示最大レベルはA9 (109dB μ V) です。
CN比は最大32まで表示します。31から点滅を開始し、32以上は32で点滅表示となります。

④電池マーク: 通常消灯。電池残量が3.3V以下になると点滅します。電池マークが表示されましたら、3本とも新品のアルカリ単3乾電池に交換してください。

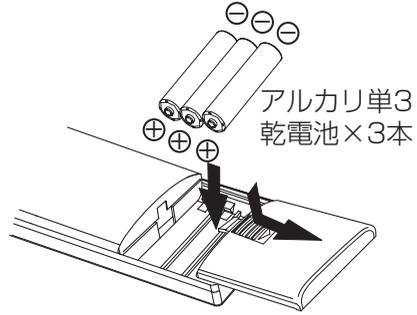
⑤バーグラフ: 受信レベルの変化をバーグラフで表示します。BSの場合、ピークをバーグラフの中心に設定して、アンテナの方向調整に使用してください。

電池の入れ方

右図のように、裏面のフタをずらして取り外し、新品のアルカリ単3乾電池を⊕⊖の極性を間違えないように入れて、フタを元どおりに取り付けてください。

なお、付属品の乾電池は動作確認用です。使用する場合は、新品を使用してください。

注：乾電池の取り扱いには注意してください。詳しくは1ページの警告文章を読んでください。

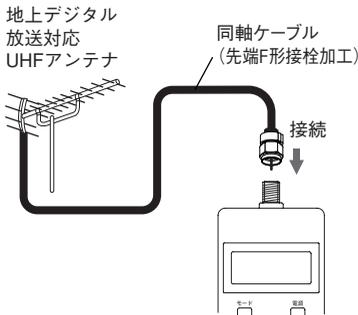


アンテナへの接続方法

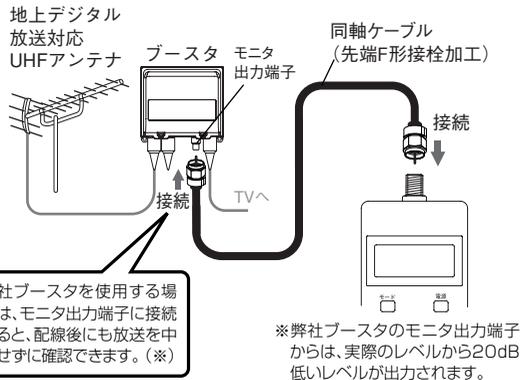
つぎのようにチェッカのアンテナ入力端子にアンテナ出力、ブースタ出力、壁面端子などを同軸ケーブルを用いて接続してください。

■UHFアンテナへの接続

< ブースタを使用しない場合 >

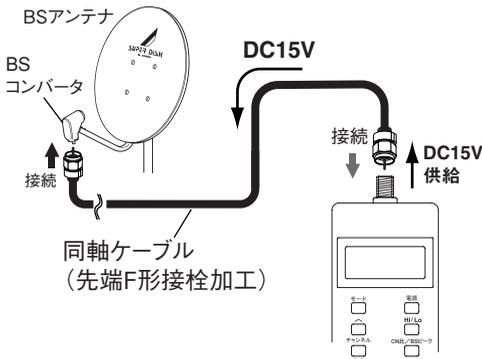


< ブースタを使用する場合 >



■BSアンテナへの接続

※チェッカ本体から、BSコンバータに電源の供給ができます。下図のように接続してください。



BSコンバータ用電源供給時の電池寿命の目安

使用時間の目安は、(5分使用、30分休止のサイクルで)約28回です。なお、画面に電池マークが点滅表示されますので速やかに電池を3本とも新品と交換してください。

※BSコンバータ用電源を供給しない場合は、連続約24時間使用可能です。

注)BSコンバータ用電源の供給は、同軸ケーブルの接続後に行なってください。

基本操作

- 電源のON/OFFの方法です。



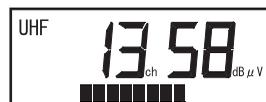
- 電源ON：電源ボタンを2秒以上長押しすると電源が入ります。
注：電源を入れるたびに初期状態(地デジの13ch)に戻ります。
- 電源OFF：電源ボタンを1秒程度短く押しと電源が切れます。



地デジ放送の確認方法

- 受信レベルを確認します。
- CN比(*)を確認します。

①モードボタンを押してUHFを表示させます。(初期状態は地デジの13chです)



②チャンネルH/Vボタンで確認したいチャンネルを選択してください。



バーグラフが最大になるように調整してください!

③レベルが表示されます。アンテナの方向を変えると値が変化し、バーグラフが連動して増減します。



バーグラフを見ながら最大になるように調整してください。なお、レベル表示部にHiやLoと表示される場合はレンジオーバーを意味します。この場合、Hi/Loボタンを押してください。



④CN比(*)を確認する場合

CN比/BSピークボタンを押します。レベル表示がCN比(*)表示に変わります。



地デジ・受信良好の目安

受信レベル：57dB μ V以上で
C N 比 (*)：23以上が目安



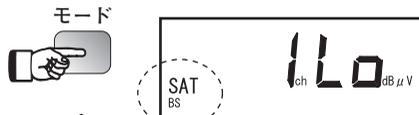
注意 受信レベルとCN比(*)の両方が、目安値を十分に超えていないと映像が正常に映らないことがあります。→詳細は6ページをご覧ください。

(*) CN比は弊社独自の測定方法によるものです。

BSアンテナの方向調整方法

- 受信レベルを確認します。
- バーグラフを使用します。

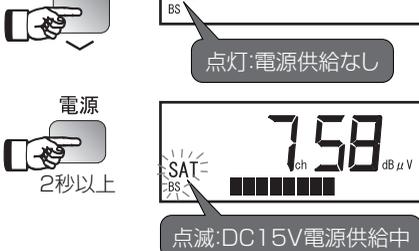
①モードボタンを押してSAT_{BS}を表示させます。(BSモード時の初期画面は1chです)



②チャンネルH/Vボタンで確認したいチャンネルを選択してください。



③BSコンバータに電源を供給する場合電源ボタンを2秒以上長押ししてください。アンテナ入力端子からDC15Vが供給中は画面のSAT_{BS}の文字が点滅します。(注意) 再度2秒以上長押しすると供給が停止します。



④受信レベルが表示されます。アンテナの方向を変えると値が変化しますので、最大になるように調整してください。なお、レベル表示部にHiやLoと表示される場合はレンジオーバーを意味します。この場合、Hi/Loボタンを押してください。



⑤バーグラフを使用した調整方法



1. CN比/BSピークボタンを押してください。受信レベルのピークがバーグラフの中心に設定(オフセット)されます。

2. バーグラフを見ながらアンテナの方向を変えてください。

3. 受信レベルに連動してバーグラフが増減します。振り切れる場合は、再度CN比/BSピークボタンを押して1,2を繰り返してください。バーグラフが最大になるようにアンテナの方向を微調整してください。

注意 ・あやまってUHFアンテナに電源を供給しないでください。故障の原因となります。

・BSアンテナとこのチェックの間に、TVコンセントや分配器・分波器、ブースタなどを使用している場合は、すべて通電(電流通過)タイプを使用しているか確認してから電源を供給してください。



参考・テレビ端子レベルを確認する場合

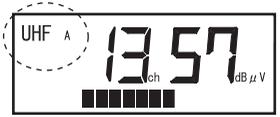
各部屋のテレビ端子レベルは57dB μ V以上を目安としてください。



地上アナログ放送の確認方法

- 受信レベルを確認します。
- アナログ音声を確認します。

①モードボタンを押してUHF_Aを表示させます。



②チャンネル \wedge /Vボタンで確認したいチャンネルを選択してください。

③レベルが表示されます。アンテナの方向を変えると値が変化し、バーグラフが連動して増減します。バーグラフを見ながら最大になるように調整してください。
なお、レベル表示部にHiやLoと表示される場合はレンジオーバーを意味します。この場合、Hi/Loボタンを押してください。



④アナログ音声確認をする場合

CN比/BSピークボタンを押します。

選択中の放送の音声スピーカーから出力されます。

CN比/BSピーク



故障かな？と思ったら

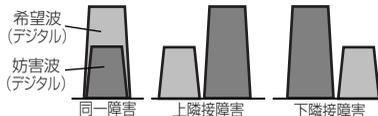
地デジ放送が映らないのはなぜ？

受信レベル、CN比(※)ともにOKなのに正常に映らない!?

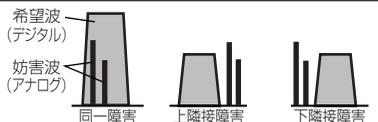
- 故障と判断される前に、アンテナに関して次の2項目をチェックしてください。
 - おおよそのアンテナの方向が、お客様が受信しようとしている送信局に向いていますか？
 - 受信したい送信局の送信偏波を確認して(水平/垂直偏波)、アンテナがその偏波に対応した状態に組み立てられ、正しく設置されていますか？
- このチェックのCN機能(※)で、CATVで配信される信号のCN比は測定できません。
- 画面に出たCN比(※)が受信良好の目安値を満足していても、お客様の受信エリアが複数の送信局の信号を受信可能な地域(マルチパス障害)の場合や、ビル等の反射波による影響を受けている場合、下記ケースのような受信状況になり、テレビ画面にブロックノイズが発生したり、正常に映らないことがあります。

<電波の混信イメージと対策> 希望する電波に妨害波が影響を与えている可能性があります。

ケース1 デジタル波形
どうしの混信



ケース2 デジタルと
アナログ波形
の混信



<対策>

- ①指向性の鋭いアンテナに変更する
または
- ②ブースタを使用して必要な電波を増幅する

(※)CN比は弊社独自の測定方法によるものです。

使用上のご注意

- このチェッカは測定補助装置です。アンテナの方向調整および簡易的に視聴可能であることを確認する機器ですので、表示される受信レベルおよびCN比の値は目安です。
- 正確な測定を必要とする場合は、校正された電界強度計などを使用してください。なお、このチェッカの表示する値と電界強度計の表示する値との間に差異が生じる場合がありますが、測定方式、測定精度、分解能、演算処理、補正方式の違いにより生じるものですのでご了承願います。
- このチェッカはBS放送と110度CS放送（スカパー！e2）兼用のアンテナでは使用できますが、スカパー！（JCSAT3号、JCSAT4号）用アンテナでは使用できません。
- アンテナ入力端子に接続するケーブルには、3C、4C、5C同軸ケーブルを使用してください。7C同軸ケーブルを使用する場合は、アンテナ入力端子の保護のため、必ずコンタクトピン付き接栓を使用してください。
- 受信レベルやCN比の値は目的のチャンネルや周辺環境など諸条件により変わります。強電界地域やその付近では、放送波がないチャンネルでも、高いレベルが表示されることがあります。また、強い電波が存在する環境では、正しい受信レベルが確認できない場合があります。
- アンテナ入力端子へ25V以上の電圧、もしくは119dB μ V以上の高周波出力を接続しないでください。機器が破損したり、正確なレベルが表示されなくなります。
- 水没、落下・分解・電池の液漏れなど通常使用以外による破損・故障にご注意ください。

規格特性

対応放送	地上デジタル/アナログ	BS
受信チャンネル(ch.)	13~62	1~23 (注1)
受信周波数(MHz)	470~770	1032~1489
受信レベル(dB μ V) (測定精度(dB))	20~109 (± 3) (注2)	45~99 (± 4)
C N 比 (注3)	最大表示32まで (デジタル放送受信時のみ)	—
入力端子	F形(75 Ω)	
音声出力	アナログ放送受信時のみ	
オートパワーオフ	約5分	
電源(V)	3.3~5.0(アルカリ単3乾電池3本)	
消費電力(W)	0.36(地デジ)/3.0(BSコンパター用電源供給時)	
使用温度範囲(°C)	-10~+40	
外形寸法(HxWxD)(mm)	183x60x25(突起部のぞく)	
質量(g)	180(電池含まず)	

(注1) 17~23chは拡張チャンネル(予定)です。

(注2) 地上デジタル(20~99dB μ V)の場合。

(注3) CN比は弊社独自の測定方法によるものです。

※規格は改良により、変更させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

※この製品を処分するときは、地方自治体のルールに従って処理してください。

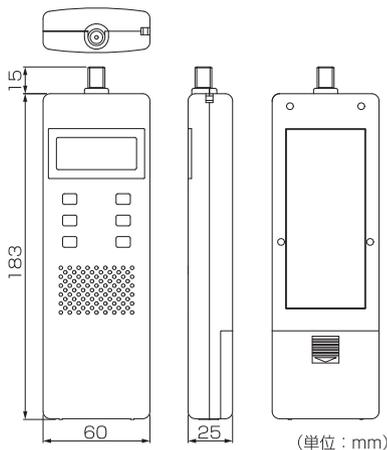
詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

札幌支店 TEL.(011)822-1251(株)	宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(株)	三重出張所 TEL.(059)226-1643(株)	山陰出張所 TEL.(0853)24-2343(株)
旭川出張所 TEL.(0166)37-5830(株)	新潟営業所 TEL.(025)276-2166(株)	金沢支店 TEL.(076)261-9988(株)	高松営業所 TEL.(087)868-1222(株)
東北支店 TEL.(022)243-2141(株)	茨城営業所 TEL.(029)826-5341(株)	富山営業所 TEL.(076)422-7878(株)	松山営業所 TEL.(089)925-3826(株)
盛岡出張所 TEL.(019)636-1581(株)	千葉支店 TEL.(043)253-1121(株)	大阪支店 TEL.(06)6304-6651(株)	福岡支店 TEL.(092)541-0168(株)
郡山出張所 TEL.(024)921-7131(株)	木更津出張所 TEL.(0438)23-6281(株)	堺営業所 TEL.(072)278-5311(株)	北九州営業所 TEL.(093)922-6556(株)
東京支店 TEL.(03)3526-5402(株)	静岡営業所 TEL.(054)281-0141(株)	京都営業所 TEL.(075)382-6141(株)	長崎出張所 TEL.(095)842-0780(株)
東京東出張所 TEL.(03)5654-9881(株)	浜松営業所 TEL.(053)461-6885(株)	神戸支店 TEL.(078)579-8550(株)	大分営業所 TEL.(097)504-7799(株)
多摩営業所 TEL.(042)572-4911(株)	中部支店 TEL.(052)919-6531(株)	姫路出張所 TEL.(079)283-8920(株)	熊本営業所 TEL.(096)325-0711(株)
横浜支店 TEL.(045)651-2557(株)	松本営業所 TEL.(0263)27-7801(株)	広島支店 TEL.(082)237-5331(株)	南九州営業所 TEL.(099)267-8211(株)
埼玉支店 TEL.(048)652-3311(株)	豊橋営業所 TEL.(0532)57-2133(株)	岡山営業所 TEL.(086)245-2948(株)	沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(株)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代) 東京支社/〒101-0023 東京都千代田区神田松永町19番地 秋葉原ビルディング8F TEL.(03)3526-6327(代)
カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30~12:00/13:00~17:00(土曜・日曜・祝日および夏季・年末年始休暇は除く)
ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>

外形寸法図



(単位: mm)